


兄も する 土



慶清津へ  
日朝退京  
祭の爲め



同上  
副官十一日朝退京  
同上  
司法事務視察の爲め



時雨ると  
や待つ





音聲、滿場おんじやうまんぢやう

▲旅塵を拂ひ 六時半より  
は出興政務總監等が晩餐會を催し數  
百上り  
副官、秘書官等に従へ政務總監室  
總務局、度支部、農商工部、司法部

錨鎖を切斷さる

長崎縣西彼杵郡門津村高村萬作所  
汽船第二嘉茂孝九(十一噸)に十三  
乗組み潜水器を積載して對馬を發  
十一月十八日江原道蔚珍郡三和面  
邊海に入港し明治三十八年五月中  
露海戰の際鬱陵島附近に沈没した

南咸興郡上朝面塔洞附近

死者を埋葬したる新墓を喰ふ猛獸あり里民は頗る驚くが十一月二十九日

多事だつた 今年の京城の

頃からの強い京城の活動寫眞で飛行好きの満足をあらわす相當に成績

軍人の本分を守つて他を  
故大山元帥を懷ふ秋山軍司

方は日清戦争にも大山公の第二軍の大役最をなし部心なき大人格に畏

南三水郡仁進保地方は鴨緑江

沿岸なるが同地方にては十一  
日より鴨緑江に流水あり十八  
の渡船不可能となり二十一日  
上の通行自由となれりと而

毎日午前十一時に戦況を

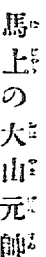
御居間には簡單なる御寝臺一箇

せらるゝものとなるが、

●十一日の朝

砂金發掘中 鳥居龍藏

高道松禾郡藥山邑内里西部居住  
 少金鑛ヲ吳東建(五)ハ此程同郡邊  
 田竹里竹洞の水田にて砂金採掘  
 (一)も數日節同釜洞の



馬<sup>に</sup>上<sup>り</sup>の  
大<sup>に</sup>山<sup>に</sup>  
元<sup>に</sup>帥<sup>する</sup>

遊興中

其後、海運、廣州にて表具、蔵を密み、本年十一月十七日平樂に來り、南門通り、支店、東京に於て、價格し十五圓、を許取し、密鎖し、元、州興業會社、西川、配人の印章を偽造し、之れを押捺、

二十九 山人醫學友し一

俊九 十日午<sup>コ</sup>前<sup>ズ</sup>九時<sup>ビ</sup>五<sup>ニ</sup>分<sup>ノ</sup>釜<sup>カマ</sup>山<sup>ヤマ</sup>入<sup>イ</sup>港<sup>コウ</sup>高<sup>タカ</sup>麗<sup>リ</sup>丸<sup>マル</sup>一

譯題

蘭募集規程 ▲用紙は端書又は型同  
 の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名  
 の外に住所氏名明記の事 ▲贈賞は一

●新築落成移轉御披露

弊機構は迄不便なる場所にお粗末にして狹隘なる客室にて營業致  
來り候處各位の厚き御引立を蒙り今日まで無事に繼續仕候（其何分  
以上の缺點は御客前に反く事甚だしく、久しく以前より適當の場所  
選擇中先般通町一丁目黄島谷元初音跡をトシ廣小間等新築中の  
處愈々落成仕候に付今更移轉と同時に營業上大改革を行ひ新鮮な  
料理を低廉なる價額にて永く御愛顧に酬ひ度存候例率不相稱御引立  
の呈呈所ニ上

尚ほ新築披露の印ミして午前八時より正午迄に御來遊の御方様にはミルク湯並に會席御料理酒付御一人前金五拾錢にて御支度仕候間是非共御來遊被下度願上候

京城廻町二丁目(黄鳥谷)

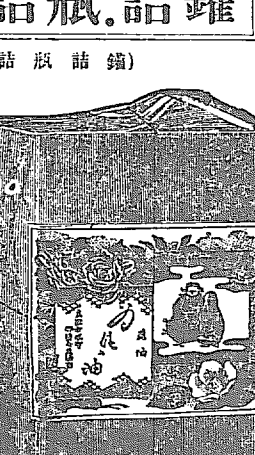
會席御料理

からす丸

◎最良の髪油  
近來類似品あり御仕入れの際  
正味に付て

罐詰瓶詰

(罐詰瓶詰)



登錄商標に御注意願上候

包裝體裁

(寫字圖)

東京日本橋區券町  
本舖井筒屋香油店  
大阪東區南久寶寺町  
支店康森原之坊



旅館開業

設備完全  
懇切丁寧

春川旅館

(電話三八番)







明君道中記

第二席

田邊南龍口演

明君道中記 第二席 田邊南龍口演  
明君道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、  
明君の御道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、  
明君の御道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、



明君道中記 第二席 田邊南龍口演  
明君道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、  
明君の御道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、  
明君の御道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、

明君道中記 第二席 田邊南龍口演  
明君道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、  
明君の御道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、  
明君の御道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、

明君道中記 第二席 田邊南龍口演  
明君道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、  
明君の御道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、  
明君の御道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、

明君道中記 第二席 田邊南龍口演  
明君道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、  
明君の御道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、  
明君の御道中記は、大坂城内に於ける、明君の御道中記を、其の要略を、

御園白粉

外國でも  
御園白粉

英國の倫敦、佛國の巴里乃至は米國の華盛頓と申すやうな世界の都ては、國々の美人が時世粧の美しい服装に美しい化粧に装を凝らして、夜會とか觀劇とか其他種々の會合に集まられます。其様な場所へ日本の外交官とか紳士紳商の御夫人御令嬢が御出席になりなす場合に、服装は當時の流行の粹を盡した美服を召し上り、御化粧だけは外國の御化粧品では思ふやうに参りませぬ所から皆様が御園化粧品を御愛用遊ばします。何に致せ御園化粧品は日本の御婦人の肌合ふやうに調製してありますので、日本の御婦人のおいては、す所は世界中に御園白粉が行き渡つて居ります。所が不思議な事には日本の御婦人の御化粧が美しいと云ふので近頃外國婦人にも御園白粉の愛用者が段々増へて註文が引切りなしに参るやうになりました。

伊東胡蝶園  
丸見屋商店



病身は一生の損!!  
次亞燐  
改築落成  
業務擴張の爲め豫而改築中の店舗落成仕候間今後一層勉強仕候間  
信舊の御引立偏に奉願上候  
東京市本町二丁目  
諸雜貨卸商 務森久商店  
支店所在地 平壤 新幕 安州  
電話 三三三三 三三三三 三三三三 三三三三

康健 腸胃病 最新藥  
シガロ  
島田醫學博士實驗  
官公私立病院證明  
腸胃を防禦消毒し蛋白質の消化吸収を助けるシガロは腸胃の消化不良便秘貧血衰弱症に卓効を奏すシガロは腸胃の消化不良便秘貧血衰弱症に卓効を奏すシガロは腸胃の消化不良便秘貧血衰弱症に卓効を奏す

醬油値上げ廣告  
仁川醬油製造業組合  
大塚醬油製造業組合  
宮川醬油製造業組合

お歳暮は  
一等  
兒童は眼  
目を知識  
の門戸



二十日朝刊  
(夕刊と合せ八頁)

支那借款

戦争開始以來、日本の貿易、順調なりしが爲めに、日本が受取るべき、正貨超過額、一年四億圓を超へんとす。其の大部分は、海外に保留せざる能はず。爲換の關係上、正貨が輸出せられ、通貨の膨脹、物價の暴落を招き、國家の經濟状態に變化を生ずる供あり。先きに日本財政の取柄も巨利を生みつゝあり。斯には現に百二十萬ブードの堆貨あり莫斯科の大茶商等は迅速なる輸送を爲すべく、車輪の調達方々主務大臣に於て賄賂し居れるが、櫻葉、關稅に於て五十萬圓を徴するに

北滿の商業(下)

にして漸く極めて最近に至る、狐皮及び狐狸、皮の價格の騰貴を見たるに過さず、鐵は、今尙米國より來るも價格は最近に於て百分の三十方騰貴したり又大量の日本鐵材は露國に輸入されつゝあるが供給者は其百分の三十五の利益を收め居れり而して露國大藏大臣は、アメリカのニコラエウスを

見立せるる個所なりとす

せらるるは、中空の屏風、水箱、其他税關吏が往々偶然に發見し得るが如き發見し得る個所なりとす

ものにして其埋藏所として多く使用ラードにて列車中に潜かに持込みしを發見したる例あり此等は、ベトログを二十萬圓の價ある阿片五十ブードも急行列車内のみに縛りつゝあるも

受けたる所以も、日本に消化せられざる、正貨を減せんとする、趣旨に出たり。今支那に對して、一個國の政治借款に應ずるも、亦金融調節の爲に、大なる効果なくんばあらう。

更に一步を進めて云へば、吾人は日本が、政治借款のみならず、實業借款をも支拂に爲さん事を、希望せんやあらう。夫れは支那運轉の一

夏目漱石君を悼む  
山縣生

夏目漱石君の永眠を聞きて、余は「友は一人又一人彫斃で逝く、何人か友を亡はざりし者やある」との古人の句を憶ひ出し、惘然として人生の定めなきを感ぜざるを得ぬ。

夏目君は余の最も尊敬する友人であつた。若し我國に世界的文學作家が學生時代に於て、君は此教授の自慢の舊植園の人で、君は彼教授の自慢の學生であつた。其財力には後來名を成した上げた青年が文科大學より上居上等な。正岡子規、尾崎紅葉、川上眉山等も君と同年級であつた。高田次郎、田代夢太郎、小宮山等も君と同年級の秀才を揃いて入學した。此等の人们々々皆近きて余の如き意才鈍物が生きて居る。誠に時代にならねば此輩である。當時に於て漱石君は異人であつた。恐らく同樣の理由であつたらうと思ふ。自慢をするやうであるが余は九十九六歳の高齡を取つて得意で居るが、他の學科が頗る不成績であつた爲め物の見事に落第した。余が無事に大學を卒業せず、同學の誹謗年々と全然無関係を異にして、新聞記者になつたのは斯る事情に因るのである。

送き將來は、暫く措い、之を論せず、今日に於ては、日本の立場より云へば、支那に對して、政治施設を試むべき時機にあらず。日本の動機が、好意なるにしも、日本が東洋に於ける、唯一の武力國たる關係よりして、支那及び列國に、日本政府の行動に對して、常に猜疑の念を起さすべき供あり。日本は昨年の、日支交渉の結果として、滿蒙に對しては、已に經濟的發展をなし得べき素地を作り居れ、政府の力に於ては、已に成し得て、此上は、民食、鹽、企業者の密着を待つのみと云ふも可なり。支那本部に對して然りと、日本は此際、勉めて無用の政治的施設を爲すを避け、専ら支那の經濟的發展を助ぐべきなり。斯く

を出して、ノル貨金を獲得する人あらば、君は其人であるや期待して居た君は天才であるのみならず、學殖頗る深く、英文學の造詣に於て悉く君に及ぶ人は我國に多く無からう。君は海内に於て既に無上の名聲を博した、今後は世界の名聲を得るであらうと預期して居たのであるが、天に於て手を下さずして、其の若き年齢に於て早くも白玉樓上の人となつた事は誠に残念なる次第である。憶ひ出せば君と始めて相知るに至つたのは廿五六年、前余が帝國大學の文料に入りて、英文學を修め始めた時の事であつた。其君は三年生で二年生は一人もなく、山階侯太郎といふ人と僕とが一年生で、英文學の専攻者は僅に三人のみであつた。其の英文學の教授はデクソンといふ

た。子規とは頗る交り親しかつたやうであるが、他に文料の同年生中に親友は多く無かつたやうである。君は平生甚だ沈黙で、出しやばるものが嫌ひで、牧場にて居るか居ないかが分らぬやうであつた。學業の成積は職を擧げて優等で、其論文や試験の答案はいつも立派なものであつた。余等を教へたデクソン氏は探訪に頗る嚴重で、英文の答案に筆字の誤りがあると文法の誤りやあつたりするので、及前點を取るだけでも容易な事であつたが、夏目君はいつも八十九十といふ高點を取つた。手規は僅に十六點差を與へられて落第したので、已に文學を修めるとなりなで、英語を學びに來たのぢやないと言へして果してしまつた。

て頗る放縱不規則であつた。これが爲め余は校風を整へる者として同年級生の諸直なる人々より排斥され、絶交を申渡された事もあつたが、其時夏目君は僕の味方となつて、相援ち手を擧げてくれた。余は謙直連中の疾言を何等顧慮する所はなかつたが、夏目君の友誼は深くは德とし、今猶ほ之を忘るべきは無い。

夏目君は無事に大學を卒業して地方に出て英語の教師となり、後英國に留學を命ぜられて、歸朝後文料大學の講師となつたが、君の性格は大に學識師としては不當であつた爲め久しからずして職を辭し、東京朝日に聘せられて、商業部小説に筆を執ることとなつた。其時余に寄せられた手紙に、今日から君の仲介入を

大根五の日子の日陰吟  
 何本も抱黄に丘くき大根の干細虎り  
 家裏に細耳するゝ大根の陽句あたり  
 大根煮つ鳥まりし水足平らず  
 長大根の長池さ九大根の圓堂さ  
 大根の土振目ふ呪のは

日報詩壇

梅花香雪園 直井 歌麿

日○閉門呻筆稱。不堪勝病餘癡態。  
詩曰：空谷道逢梅樹老，花書盡日  
一○意瘦。對寒呻吟未覺詩句回。

謝曰：貧苦無聊。問：梅花深處是若廬十  
許曰：吾家舊在香林間。梅花深處是若廬十  
許曰：無殊。無殊。言之甚如我感。

立花燈宵賞賔時位慶祠奇造奇懸  
洲將軍

紹遠威名壓九州。義方有訓徵策國。  
險度梁川水。波下甜醢有白鷗。

○草園說兒  
先生地位慶祠奇。顯赫

國風三世典型存。草履西清尊厚嘏。  
嶺山荒寂日風川。水暖港天恩。

評曰：字字有德。田淵、秦州  
○各日街上儼成。田淵、秦州  
朔風如劍刺肌膚。又是犀象蒲虎驚。  
與火雲燒地。潛身窗下步街衢。

評曰：用字奇拔

漢詩 課題「丁巳新年口號」  
「遼山雪」 但し近體古體を問  
短歌 課題「春の灯」(一首以内)  
俳句 課題「お降り」(一首以内)  
年譜 明治二十二年二月二十日、用邸  
詞書 係に宛て投稿の事  
新作 係に宛て投稿の事

王田、夏目の二君は近く去つた。大塚の非凡の産物は斯くして残つてゐる。何ぞも弱く壊れ易い。然し生きて居る。爲さずに生きて居る。上等の物は、死んだのか生きて居るのか分らぬやうな不平等ない。活を遂げて居る。余の運命に比ぶれば、或は惜まれない。早く死んだ夏目君等の方が好運なのかも知れぬ。さう考ふれば君の永眠は大に悲むにも當るまい。元來君の性格より推察するに、君は生死の問題はさして重大なる問題と思つて居なかつたであらうと推察される。して見れば君自身は余の残念と思つてゐた、死んで行くことを悲しまなかつた、死んで行くことを考へて余も多少慰めを得るのである。

仁川  
白神  
鐵鋼材  
浪板、平板  
針金、洋釘  
新田帶革總代理店  
京坂

ベイント、油類一切、  
コークス、セメント、  
耐火煉瓦、瓦ルタル、  
スコップ、シャベル  
帶革、ロープ  
機械、工具  
附屬品  
其他

【物價表附】 鐵工部局代運】

外交に經手する者其地にて爲し得る  
 物收五十圓以上其地特許手荷  
 者希うは履歷書を本社外交總長宛  
 送れ

東京市日本橋區坂本町十九番地

**東京勸業株式會社**

**新刊圖書海**

著者 定價

①輸入猪太神話高橋 俊郎	一圓
②修養十二月用月曆 岡野	一圓
③時問の活用 廣川 忠孝	六五
④神見式速算法神見 鏡吉	一圓
⑤縮刷幽霊塔墨 源一 漢	一五
⑥船の叫び 金田一 三	六五

有 木 清 龍大木 一三  
 弱者爲に村人定一  
 江戶候客物語 無 九  
 強者の天地 地外小路 無 九  
 小説 立正宗 爲 九五  
 珍科學の語に附人 八五  
 新作詩自に上 五  
 科學と人生 桑 六  
 北濱の女 町島 得 一四  
 歐米の女性中棋盤 一  
 近世立志 續 綴村 修造 八五  
 案 傑 保田中良 爲 三〇  
 工業金論 松崎 爲 三〇  
 小説 姉と妹并 絳 爲 三〇

實業之日本社

總裁 大隈 實

副總裁 澁澤 實

僅一

出 張 所 開 設

弊社業務擴張のため豫て南大門通三丁目に出張所新築中の處今回竣  
成に付本日より該所に於て營業仕候間何卒 倍舊御引立の程奉願上候  
一當社は火災保險の外運送、損害（怪我の保險）の各保險をも兼營仕候  
電話又は掛書等御便宜の方法に依り御一報次第社員早速参上極めて懇切に御契約取扱可申上候

京城府南大門通三丁目八十五番地（米倉町電車停留場前）

共同火災保險株式會社

京城出張所

大正五年十二月十二日

電 話 一 八 四 一 番 (主 任 舍 宅)

第六十  
五 回 勸 業 債 券 (拾 圓) 賣 出

總 額 五 百 萬 圓 利 子 年 四 分 五 厘 每 年 十 月 拂 出  
十二月十一日より二十五日まで

當 銀 行、各 地 代 理 店、取 扱 店 並 に 各 地 郵 便 局 に て 賣 出 す

くじびき  
初 回 は 來 年 三 月、以 後 每 年 三 月、九 月 の 二 回

等級		金額	初	回	二回目以後毎回
一等	貳千圓	十	五	本	五 本
二等	百圓	二百三十五	本	二十五	本
三等	拾圓	三百五十	本	二百五十	本
四等	五圓	九	百	本	四百七十
計		六萬壹千五百圓	一千五百本	七百萬五十本	壹萬七千三百五十拾圓

●新學期開始  
●五大特典 提俵

銀行、會社、商店員の  
小學を卒業した人の  
實業家に従事する人の  
家たらんとする人の

●絕好の會  
●良師友 費  
三月分  
六月分  
九月分  
十二月分  
一月分  
四月分  
七月分  
十月分

# 實業講習會

●會員大募集學  
●入會金免除科

商業簿記  
銀行簿記  
商業英文  
商業算術  
商業英語  
珠算  
商業地理  
商業品學  
商業史  
商業見聞  
商業代  
商業本進呈

●年  
●獨學  
●實業  
●知識  
●悉く  
●備は  
●る

# 實業講習會

●一四二  
●六〇

東京  
大阪  
京都  
名古屋  
神戶  
横濱  
福岡  
札幌  
仙台  
大宮  
宇都宮  
水戸  
上野  
東京



### ドイツランド無事歸航

○ドイツランド無事歸航  
○ドイツランド無事歸航  
○ドイツランド無事歸航

### 東宮京都御著

○東宮京都御著  
○東宮京都御著  
○東宮京都御著

### 國葬決定

○國葬決定  
○國葬決定  
○國葬決定

### 國葬係長仰付

○國葬係長仰付  
○國葬係長仰付  
○國葬係長仰付

### 米穀調製の進歩

○米穀調製の進歩  
○米穀調製の進歩  
○米穀調製の進歩

### 監査官の減員

○監査官の減員  
○監査官の減員  
○監査官の減員

### 通信収入好況

○通信収入好況  
○通信収入好況  
○通信収入好況

### 東宮收納進捗

○東宮收納進捗  
○東宮收納進捗  
○東宮收納進捗

### 金山海運増率

○金山海運増率  
○金山海運増率  
○金山海運増率

### 客月木浦金融

○客月木浦金融  
○客月木浦金融  
○客月木浦金融

### 去年仁川經濟

○去年仁川經濟  
○去年仁川經濟  
○去年仁川經濟

### 秋山大將巡視

○秋山大將巡視  
○秋山大將巡視  
○秋山大將巡視

### 立花中將巡視

○立花中將巡視  
○立花中將巡視  
○立花中將巡視

### 不渡手形減少

○不渡手形減少  
○不渡手形減少  
○不渡手形減少

### 鳥山の滞貨

○鳥山の滞貨  
○鳥山の滞貨  
○鳥山の滞貨

### 大阪より

○大阪より  
○大阪より  
○大阪より

### 南言北語

○南言北語  
○南言北語  
○南言北語

### 露買禁止

○露買禁止  
○露買禁止  
○露買禁止

### 燐寸取引改善

○燐寸取引改善  
○燐寸取引改善  
○燐寸取引改善

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 池田中佐入京

○池田中佐入京  
○池田中佐入京  
○池田中佐入京

### 柳瀬代議士通過

○柳瀬代議士通過  
○柳瀬代議士通過  
○柳瀬代議士通過

### 大邸郵便局移轉

○大邸郵便局移轉  
○大邸郵便局移轉  
○大邸郵便局移轉

### 春川雜信

○春川雜信  
○春川雜信  
○春川雜信

### 佛國軍需交渉

○佛國軍需交渉  
○佛國軍需交渉  
○佛國軍需交渉

### 久原鐵業配當

○久原鐵業配當  
○久原鐵業配當  
○久原鐵業配當

### 一方向輸出

○一方向輸出  
○一方向輸出  
○一方向輸出

### 鳥山の滞貨

○鳥山の滞貨  
○鳥山の滞貨  
○鳥山の滞貨

### 露買禁止

○露買禁止  
○露買禁止  
○露買禁止

### 燐寸取引改善

○燐寸取引改善  
○燐寸取引改善  
○燐寸取引改善

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火

### 妖術から放火

○妖術から放火  
○妖術から放火  
○妖術から放火







